

## 介護実習・普及センター等の再編・機能強化について

### 1 目的

今後、本市では更なる高齢化の進展が見込まれる中、介護が必要になっても住み慣れた地域で自分らしく活動的な生活が出来る限り続けられるよう、福祉用具や介護技術の相談支援を行う「介護実習・普及センター（愛称名：福祉用具プラザ北九州）」を再編し、在宅生活を支える専門支援拠点として機能強化を図るもの。

### 2 ねらい

- 在宅生活における自立度・介護力の更なる向上
- 介護テクノロジー（福祉用具・介護ロボット・ICT機器等）の普及・促進

### 3 再編対象

< 2 施設 >

- ・介護実習・普及センター
- ・介護ロボット等導入支援・普及促進センター

< 1 事業 >

- ・高齢者排泄総合相談事業

### 4 機能強化の概要

(1) 新しい愛称名

(仮称)「テクノケア北九州」～ラクなケア～

(2) 主な見直しポイント

- 福祉用具や介護ロボットなどの生活場面展示で、具体的な利用をイメージ化
- 専門家（リハ専門職、介護福祉士、社会福祉士、看護師）による多様なニーズへのワンストップ対応
- リハ専門職等による訪問支援を拡充し、在宅生活を支える支援拠点として強化
- 介護知識から介護テクノロジー（福祉用具・介護ロボット・ICT等）まで充実した研修・講座

### 5 スケジュール（予定）

令和6年7月頃	次期指定管理者の公募
令和6年12月	次期指定管理者の指定
令和7年4月	次期指定管理者による運営開始 施設改装
令和7年夏頃	オープン

## 介護実習・普及センターについて

### 1 設置目的

介護に関する知識及び技術並びに介護機器の普及を図ることにより、市民の高齢者福祉に対する理解及び参加の促進に資する。

### 2 施設概要

名称：北九州市立介護実習・普及センター（愛称：福祉用具プラザ北九州）  
 所在地：北九州市小倉北区馬借一丁目7番1号（北九州市総合保健福祉センター1階）  
 構造：鉄筋コンクリート造地上8階、地下1階建の1階部分  
 規模：延床面積約720㎡（喫茶コーナー46.54㎡は管理運営から除く）

### 3 開館時間・休館日

開館時間：午前9時から午後5時30分まで  
 休館日：土曜日、休日、年末年始（12月29日～1月3日）

### 4 経緯

平成11年10月 直営で開設（愛称：北九州市テクノエイドセンター）  
 平成17年4月 「福祉用具研究開発センター」と統合  
 愛称を「福祉用具プラザ北九州」へ変更  
 平成18年4月 指定管理者制度の導入

### 5 指定管理者

社会福祉法人 北九州市福祉事業団  
 指定期間：平成31年4月1日～令和7年3月31日（6年間）

### 6 職員体制

7名（管理者1名、リハ専門職3名、介護福祉士2名、事務員1名）

### 7 主な業務内容（令和5年度実績）

#### (1) 福祉用具の展示

利用者数：10,937人 展示品：約1,200点  
 ※介護保険関連：約300点、障害福祉関連：約100点、制度対象外：約800点

#### (2) 福祉用具・介護に関する相談支援

相談件数：2,863件（内、訪問件数：264件）

#### (3) 福祉用具や介護知識・技術を学ぶ研修・講座

研修・講座開催件数：93回

### 8 予算状況

年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
予算額	39,397千円	39,397千円	39,865千円

## 介護ロボット等導入支援・普及センターについて

### 1 概要

介護施設における介護の質の維持・向上、職員の負担軽減及び生産性の向上を同時に実現するためのICT・介護ロボット等を活用した業務改善手法である先進的介護「北九州モデル」の普及を図るため、機器等の導入・活用・普及に関する相談支援等を行う。

### 2 実施体制

- 実施方法 業務委託により実施（委託先：麻生教育サービス株式会社）
- 業務場所 総合保健福祉センター1F 福祉用具プラザ内
- 開館時間 午前9時から午後5時30分まで
- 休館日 土・日曜日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）
- 職員体制 4名（専門職3名、事務職1名）

### 3 主な業務内容（令和5年度実績）

#### （1）先進的介護「北九州モデル」の導入支援等

業務改善手法として北九州モデルの導入を希望する介護施設に対し、業務課題の抽出、効果的な機器等の選定、人材配置を含めた業務オペレーションの整理を組み合わせたモデルの導入・実践について、推奨する分野の機器等を活用した業務改善に関する知見やノウハウを基に伴走型の支援を実施。

市内5つの特別養護老人ホームに対して、北九州モデルの導入支援を実施。

#### （2）介護施設・事業所からの機器等の導入等に関する相談支援

施設来館者数：1,723名

介護ロボット等の相談件数：144件

#### （3）機器等の体験展示及び試用貸出

機器試用貸出件数：23件

#### （4）北九州モデルの視察対応

北九州モデル導入支援施設と適宜調整：15施設

#### （5）介護ロボット活用の専門人材育成

介護現場の職員を対象に、職場で介護ロボット等を活用できる専門人材の育成を目的とした、介護ロボットマスター育成講習を開催。

介護ロボットマスター修了者：395人

#### （6）介護ロボットの普及・開発の支援

### 4 予算状況

年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
予算額	60,000千円	60,000千円	57,300千円

# 高齢者排泄相談事業について

## 1 概要

尿もれや頻尿、尿失禁などの排泄に関する総合相談窓口を設置し、本人や家族等の介護者に対する相談支援を行うとともに、地域で実際に排泄ケアの用具等を体験しながら相談対応を行う出前講演形式の相談会や専門職向け研修等を開催する。

## 2 実施体制

- 実施方法 業務委託により実施（委託先：社会福祉法人 北九州市福祉事業団）
- 業務場所 総合保健福祉センター1F 福祉用具プラザ内
- 受付時間 9：30～16：30（土・日曜日、祝日、年始年末を除く）
- 人員体制 1名（介護福祉士）

## 3 主な業務内容（令和5年度実績）

### （1）排泄ケア総合相談窓口の設置・運営

フリーダイヤルによる専用電話を設置

相談件数：194件（来所：97件、電話：97件）

### （2）排泄ケア相談会の開催

電話・窓口相談時に医療面での専門的な助言が必要と判断された方を対象に、相談会を開催

開催回数：7回

### （3）講座・研修会の開催

#### ①おむつの使い方講座

おむつの使い方や選び方、排泄ケアに関する講座を地域で開催

開催回数：7回

#### ②出前講座

市民団体（概ね5名以上）からの要望に応じ、おむつや排泄ケアに関する出前講座を開催

開催回数：8回

#### ③排泄ケア研修会

介護保険サービス事業所の職員等を対象に排泄ケアの基礎知識や排泄用具の使い方等を学ぶ研修会を開催

開催回数：2回

## 4 予算状況

年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
予算額	5,716千円	5,713千円	5,778千円